

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第57号

「視線」

2023年1月16日

コウノトリがここへやってきて、2羽が環境に慣れ始めたころから熱い視線を感じるようになりました。時間はだいたい15時くらいです。パソコン作業中、視線を感じ、ぱっと顔を上げて窓に目をやると、コウノトリが首を長くし、こちらをじーっと覗いています。

餌の催促かなあ？と私は思っています。だいたい毎日15時くらいに餌をあげているため、その時間が近づくと、こうして覗いて催促しているようです。最近ではこの行動は私たち飼育係にだけでなく、お客さんにもするようになりました。特にこどものお客さんにします。エサやり体験でギンブナを流してくれるからでしょうか？小さなこどもがやってくるとオスの空はガラス面にピッタリとくっついて「餌をちょうだい！」と言わんばかりにお客さんに視線をおくっています。みなさんも、もしかしたらコウノトリから熱い視線をおくられるかもしれませんね。



窓越しにこちらを覗く空



事務室を覗く2羽

※現在鳥インフルエンザ対策のため、当面の間エサやり体験は休止しています。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：かんちゃん